

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2352		
科目名	企業組織と法		
担当教員	中村 良		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 2		
講義室	フォーラム室（6階）	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 3－H〔論理的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 D P 4－F〔探求力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答え・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技術（60%） H 1 論理的思考（20%） I 1 理解・分析と読解（20%）		
教員の実務経験	ありません。		
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	■ 授業概要 企業社会の異名をとるように、現代社会は企業とりわけ株式会社企業によって社会生活の極めて多くの部面が担われており、その組織構造の理解は社会人にとって必須と言えます。本講義は、株式、株主有限責任、資本、所有と経営の分離といった、株式会社を特徴づける諸制度の概要と、それらに関わる今日的課題の把握を目的とします。授業形態は講義により行います。授業形態は(講義・実技・実習・演習)形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■ キーワード 企業、会社、株式会社、株主、株主有限責任、証券取引、M&A		
授業の趣旨	■ 副題 資本主義社会において「企業」は無くてはならない存在となっております。学生のみなさんも「企業」の取引相手として、経営者として、従業員として雇用契約の当事者と成ったり、あらゆる場面で「企業」と係る場面があります。受講生の皆さん、社会人に求められる「企業」の組織に関する専門的知識を修得しましょう。 ■ 授業の目的 本講義は、株式、株主有限責任、資本、所有と経営の分離、組織変更といった株式会社に関する専門的な知識を理解・修得し、「企業」の組織面に関する諸問題に論理的思考をもって向きあい、妥当な結論を導き出せるスキルを身に付けることを目的とします。		

総合到達目標	■一般目標 会社の基本的な仕組み（設立、運営、資金調達、組織変更）を理解し、会社の設立・運営ができ、関連する諸問題を適切に理解・分析し、専門的な知識を持って対応できるようになる。 ■個別行動目標 - 事業の種類・規模等に適した会社を設立するために、 ①会社を設立する経済的・法的意義を理解し、目的に適した会社形態を選択しその理由を自分の言葉で説明できる（1回、2回、3回）。 ②会社の機関のそれぞれの特性を理解し、目的に即した機関設計ができる（5回）。 ③会社の運営・事業承継その他の目的に即した株式の種類株式が発行できる（4回、14回）。 - 会社の経営を法的に適切な運営を行うために、 ①株主総会の機能・運営について理解し、自分の言葉で説明できる（5回、6回）。 ②取締役等の役員の種類、権限、義務、法的責任等を理解し、自分の言葉で説明できる（5回、7回、8回、9回、13回）。 - 適切な企業統治をするために ①監査役等の機能・権限・義務・責任等を適切に自分の言葉で説明できる（5回、10回、12回） ②各種委員会、社外取締役・社外監査役の機能・権限等について自分の言葉で説明できる（5回、8回、12回） - 会社組織の変更、合併、分割等を適切に利用するために ①会社種類の変更の意義、手続を自分の言葉で説明できる（15回）。 ②合併・分割の意義、手続を自分の言葉で説明できる（15回）。 - 事業の種類・規模等に適した会社を設立するために、 ①会社を設立する経済的・法的意義を理解し、目的に適した会社形態を選択しその理由を自分の言葉で説明できる（1回、2回、3回）。 ②会社の機関のそれぞれの特性を理解し、目的に即した機関設計ができる（5回）。 ③会社の運営・事業承継その他の目的に即した株式の種類株式が発行できる（4回、14回）。 - 会社の経営を法的に適切な運営を行うために、 ①株主総会の機能・運営について理解し、自分の言葉で説明できる（5回、6回）。 ②取締役等の役員の種類、権限、義務、法的責任等を理解し、自分の言葉で説明できる（5回、7回、8回、9回、13回）。 - 適切な企業統治をするために ①監査役等の機能・権限・義務・責任等を適切に自分の言葉で説明できる（5回、10回、12回） ②各種委員会、社外取締役・社外監査役の機能・権限等について自分の言葉で説明できる（5回、8回、12回） - 会社組織の変更、合併、分割等を適切に利用するために ①会社種類の変更の意義、手続を自分の言葉で説明できる（15回）。 ②合併・分割の意義、手続を自分の言葉で説明できる（15回）。				
成績評価方法	■リアクションペーパー6回（30%）：適用ルーブリックH1、I1 〔評価方法〕講義の理解度および何をどのように感じたかを論理的に説明できるかを評価します。 〔フィードバックの方法〕翌週の講義でコメントします。 ■レポート（穴埋め、用語説明）2回（20%）：適用ルーブリックE1 〔評価方法〕基礎的な知識を正確に説明できるかを評価します。 〔フィードバックの方法〕翌週の講義で出題意図、間違いやすい点等を解説します。 ■ポータルを用いた論述テスト1回（30%）：適用ルーブリックE1、H1 〔評価方法〕事例に対して適切な法律を適用し、妥当な結論を導き出せるかを評価します。 〔フィードバックの方法〕翌週の講義で出題意図、解答のコツ等解説します。 ■リサーチペーパー1回（20%）：適用ルーブリックH1、I1 〔評価方法〕必要な資料を検索し、適切な資料整理が出来ているかを評価します。 〔フィードバックの方法〕翌週共有フォルダにコメントを載せます。確認して学修に活用して下さい。				
履修条件	特にありません。				
履修上の注意点	■「企業統治と法」（RMGT2353）とあわせて履修することを勧めます。 ■新聞やTV等のニュースを通じて、会社がどのような活動を行っているか。どのような組織で運営されているかを考えておきましょう。				
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ 授業ガイダンス、企業法の基礎の基礎 ②授業概要 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ 授業ガイダンス、企業法の基礎の基礎 ②授業概要
回	内容				
1	①授業テーマ 授業ガイダンス、企業法の基礎の基礎 ②授業概要				

	授業の進め方、評価方法、参考資料等を確認する。 「企業」と会社の関係、会社法を学修する意義について、自分の言葉で説明できる（E 1、H 1、I 1）。 ③予習（120分） シラバスを熟読し、授業の概要等イメージできる。 会社がどのような活動をしているかを考える。 教科書および判例六法を用意し、授業に携帯する。 ④復習（120分） 教科書の該当頁を確認してシラバスに記入する。講義の説明をノートにまとめ、「企業」と会社の関係と会社の存在意義について自分の言葉で説明できるようにする。
2	①授業テーマ 会社法総論の考察 ②授業概要 会社とは何か、各会社の特徴、法人格、営利性等について専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に理解・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 リアクションペーパーで今回の授業内容を正確に要約し説明できるかを確認する。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、解らない用語は調べる。 ④復習（120分） 会社の特徴について、ノートを読み直し、各会社の特徴・違い、法人格の重要性等を自分の言葉で説明できるようにする。
3	①授業テーマ 会社の設立の意義、設立手続に関する考察 ②授業概要 会社設立の意義、設立手続に関する専門的な知識を修得し、会社設立手続に関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 前回リアクションペーパーのコメントを学修の参考にする。 レポートで専門的な知識を正確に自分の言葉で説明できるかを確認する。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、解らない用語は調べる。 ④復習（120分） ノートおよび教科書を読み直し、授業内容を自分の言葉で説明できるようにする。 小テストで分からなかった問題をもう一度考え、分からなければ担当教員に質問する。
4	①授業テーマ 株式制度に関する考察 ②授業概要 株式会社における株式制度、株主、株式の種類、株式の譲渡・担保等について専門的な知識を修得し、会社設立手続に関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 レポートの解説で各自の理解度を高める。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、解らない用語は調べる。 ④復習(120分) ノートを読み直し、株式に関連する法的問題点および学説・判例について、自分の言葉で説明できるようにする。
5	①授業テーマ 会社機関の考察 ②授業概要 会社の機関（意義、種類、権限・義務・権利・責任等）についてについて専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 リアクションペーパーで今回の授業全体の理解度を確認する。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、解らない用語は調べる。 ④復習（120分） ノートを読み直し、会社機関のそれぞれの役割を自分の言葉で説明できるようにする。
6	①授業テーマ 株主総会の考察 ②授業概要

	株主総会の意義、機能、手続、瑕疵等について専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 前回リアクションペーパーのコメントを学修の参考にする。 リアクションペーパーで今回の授業内容を正確に要約できるか確認する。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、解らない用語は調べる。 ④復習（120分） ノートを読み直し、株主総会の手続をシュミレーションし、注意点について考察する。
7	①授業テーマ 取締役に関する考察 ②授業概要 取締役の意義、機能、権限、義務、権利、責任等について専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 前回リアクションペーパーのコメントを学修の参考にする。 レポートで専門的な知識を正確に説明できるか確認する。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、解らない用語は調べる。 ④復習（120分） ノートを読み直し、特に取締役の義務について整理し、自分の言葉で説明できるようになる。
8	①授業テーマ 取締役会 ②授業概要 取締役会の意義、機能、手続、瑕疵等について専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 レポートの解説で理解度を高める。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、解らない用語は調べる。 ④復習（120分） ノートを読み直し、取締役会の問題点と是正措置について考察し、自分の言葉で説明できるようになる。
9	①授業テーマ 代表取締役に関する考察 ②授業概要 代表取締役の意義、機能、手続等について専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 リアクションペーパーで今回の授業内容を正確に要約できるか確認する。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、解らない用語は調べる。 ④復習（120分） ノートを読み直し、講義で分からなかったところを調べる。
10	①授業テーマ 会計参与に関する考察 ②授業概要 会計参与の意義、機能、権限、権利、義務、責任等について専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 前回リアクションペーパーのコメントを学修の参考にする。 リアクションペーパーで今回の授業内容を正確に要約できるか確認する。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、解らない用語を調べる。 ④復習（120分） 会計参与を実務で活かす方策を考察する。
11	①授業テーマ 監査役・監査役会、会計監査人に関する考察 ②授業概要 監査役等の意義、機能、手続、瑕疵等について専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。

		前回リアクションペーパーのコメントを学修の参考にする。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、解らない用語を調べる。 ④復習（120分） ノートを読み直し、監査役を実質的に機能させる仕組みを考える。
	12	①授業テーマ 委員会設置会社に関する考察 ②授業概要 委員会設置会社の意義、機能、手続、瑕疵等、役員の責任について専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 リアクションペーパーで今回の授業全体の理解度を確認する。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、解らない用語を調べる。 ④復習（120分） ノートを読み直し、委員会設置会社の特色と機能を自分の言葉で説明できるようにする。
	13	①授業テーマ 会社役員の責任に関する考察 ②授業概要 会社役員の対会社責任、代表訴訟、対第三者責の機能、手続等について専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 前回リアクションペーパーのコメントを学修の参考にする。 講義内容についてポータルを用いて論述テストを実施する。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を再読し不明な点を調べる。 ④復習（120分） ノートおよび教科書で論述テストの内容を確認する。不明な点があれば調べる。
	14	①授業テーマ 資金調達（募集株式発行、社債発行）に関する考察 ②授業概要 会社の資金調達手段と法規制について説明できるようになる。 前回のポータルを用いて行った論述テストの解説により、出題意図、記述のポイント等について専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 リサーチペーパーの課題を分析し資料収集する。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、資金調達に関する法的問題を確認する。 ④復習（120分） 課題についてリサーチペーパーを作成する。 上記解説により、自分のレポートの内容をブラッシュアップする。 ノートおよび教科書を読み直し、資金調達に関する規制と対応策を自分の言葉で説明できるようにする。
	15	①授業テーマ 組織変更（M&A、組織変更）に関する考察 ②授業概要 組織変更の意義、機能、手続、瑕疵等について専門的な知識を修得し、関連する諸問題を論理的に整理・分析し、妥当な結論を導き出せるようになる（E 1、H 1、I 1）。 リサーチペーパーを提出する（授業終了の翌週、リサーチペーパーへの解説を授業共有ファイルのコメントで確認する）。 ③予習（120分） 教科書の該当頁を通読し、組織変更等の手続き整理する。 ④復習（120分） ノートおよび教科書を読み直し、授業で取り扱った判例を復習し、類似の事例に適用できるようにする。
関連科目		「企業統治と法」（RMGT2353）、「民事法1」（RMGT2341）、「民事法2」（RMGT2342）、「民事法3」（RMGT2343）、「民事手続と法1」（RMGT2371）、「民事手続と法2」（RMGT2372）、「特殊講義（経済法）」（RMGT2392）、「企業コンプライス論」（RMGT3307）

教科書	■『判例六法』（令和４年版）有斐閣 ■『会社法〔第2版〕』（有斐閣ストゥディア）中東正文＝白井正和＝北川徹＝福島洋尚共著
参考書・参考URL	■岩原他編 別冊ジュリスト254号『会社法判例百選＜第4版＞』（有斐閣・2021） ■江頭憲治郎著『株式会社法＜第8版＞』（有斐閣・2021） ■高橋他編『法律学小辞典 第5版』（有斐閣・2016） ■相澤哲編『一問一答新・会社法』（商事法務・2005）
連絡先・オフィスアワー	■オフィスアワー 初回授業で説明する。メール(nakamura.ryo@nihon-u.ac.jp)での質問も可能です。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント25%：パブリックセキュリティー25%：グローバルセキュリティー25%：情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学50%：法学50%

